学　習　の　指　針（シラバス）

教科名	技術家庭科(技術科)	実施学年	２年	週時数	２時間

１　学習の目標等

学習の目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおりに育成することを目指す。 （１）生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 （２）生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 （３）より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
使用教科書 副教材等	(開隆堂)技術・家庭　技術分野、技術ノート（ワーク）、タブレット端末

２　学習計画及び評価方法等

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価	備考
第１学期	4	①　ガイダンス	・一年間の学習内容の確認を行い、学習目標を立て、意識づけを行う。	・プリント	
	5	②　プログラミング学習	・双方向性のあるコンテンツを用いて、プログラミング的思考、物事を建設的に考えることができる。	・プリント、 ・プログラミングデータ	
	6		・プログラミングと生活や社会、環境の関わりを考えることができる。	・小テスト ・プリント	
	7		・情報通信ネットワークの構成や、安全に情報を利用するための仕組み、安全、適切な制作、動作確認をすることができる。		
		③　エネルギー変換	・発明されてきたエネルギー変換の技術が社会を豊かにすることに役立つことを理解し、生活に役立てられるように考えることができる。	・プリント	
第２学期	9 10	④　電子部品の働き ～実習～	・電気機器を安全に利用するために、知りえた知識を生活に役立てられるようにする。 ・動力→電気、電気→光、音などのエネルギー変換を実習を通して、学ぶ。また、はんだごてを使用し、安全に道具を使用できるようにする。	・プリント	

３　評価について

評価の観点及び内容・評価材料

観点	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	・生活の中で使用されているエネルギーに関して、理解している。 ・双方向性あるプログラミング活動及び、インターネットを使用する中で、パソコンやタブレット端末などの情報機器を適切に利用することができる。 ・実習を通し、道具を安全に使い、取扱説明書を読み、手順通りに製品を作成することができる。 ・実習や制作で作品や製品を仕上げることができる。	・小テスト ・プログラミングプリント ・電気機器作成実習プリント ・プログラミングデータ
思考・判断・表現	・プログラミング学習では、課題を明確に理解し、より適切なプログラムを作成することができる。また、新たな目標を設定、実践することで課題を解決する力を身につける。 ・エネルギー変換学習では、社会や生活、環境との関わりを踏まえた技術の概念を理解し、表現することができる。	・プログラミングプリント ・電気機器作成実習プリント ・振り返りプリント ・エネルギー変換プリント ・プログラミングデータ
主体的に学習に取り組む態度	・エネルギー変換に関する技術や情報に関する技術について、課題の解決に主体的に取り組むもうと実践している。 ・よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、授業の振り返りをしたりする中で、新たな目標を設定し、実践することができる。	・ガイダンスプリント ・振り返りプリント ・各提出物提出割合 ・プログラミングプリント

授業を欠席した場合は、授業担当者に欠席した授業内容を聞き、課題を提出することも可能である。